



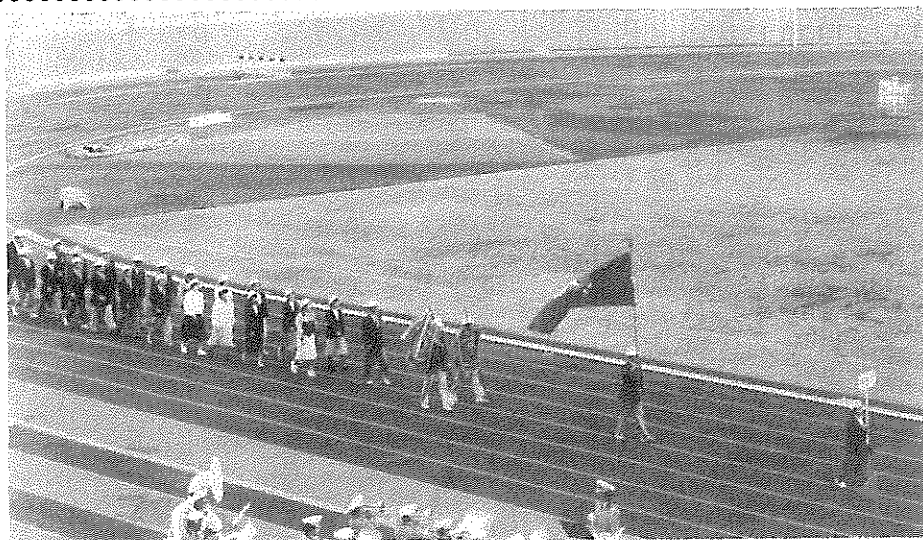
練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第38号・39号合併号

発行 昭和62年7月1日



総合開会式での練馬区選手団の入場

第四十回東京都民体育大会

女子 総合第四位入賞

男子は 十四位に終る

第四〇回都民大会は夏季(水泳)

冬季(スキー)につづいて五月二

十四日より春季二十六競技が二週

間にわたり行われ、練馬区は男子

二十競技、女子十競技に参加した。

総合開会式は駒沢オリンピック公

園総合運動場陸上競技場に二十三

区二十九郡市の代表三〇〇〇人の

入場行進により開始された。

練馬区代表は天野体育協会理事長

を団長とし、以下五十名が第二十

番目に入場堂々区旗とともに行進

を行った。大会会長鈴木俊一都知

事の挨拶につづいて、男女総合優

勝杯の返還、各種目の優勝旗の返

還、選手宣誓が行われた。

各競技は二十四日より熱戦の火ぶ

たが切られ、練馬区代表は各種目

に善戦健闘したが男子は上位入賞

はおしくも出来なかった。女子は

水泳、陸上、テニス、バドミント

ン、が大きく得点し、総合四位の

原動力となった。

◎男子総合得点 四十八点

バスケット 八・五点

サッカー 五・五点

バレーボール 八・五点

柔道 五・五点

クラレー 五・〇点

◎女子総合得点 三十九点 四位

水泳 十三点

陸上 九点

テニス 五・五点

バドミントン 五・五点

種目別成績

◎軟式野球

五月二十六日

上井草球場

練馬区 0 - 3 中央区

◎陸上競技

五月二十四日

駒沢競技場

女子総合三位入賞

一般女子 一〇〇米

第一位 木村真理子 13秒3

第三位 中本祥子 13秒5

一般女子 四×一〇〇米リレー

第一位 宮下、本橋、井村、

中本 53秒2

五月三十一日 大井ふ頭コースで

行われた駅伝競走は二十八位と振

わなかった。

◎軟式陸球

五月二十四日・三十一日

有明テニスの森公園コート

代表 男子十三名、女子延十五名

今年男子二回戦、女子三回戦で

敗れ残念だった。男子は敗れはし

たが、戦力的にはそこそこあると

思われ、今年いっぱい練習し、来

年頑張りたい。女子は今年より成

年女子(三十五才以上)が入り、

面白くなった。練馬は成年が強力

であり、一般のレベルをアップし

来年はベスト4をめざしたい。

(舟崎和誠)

◎弓道競技

五月二十四日

明治神宮至誠館弓道場

参加 監督以下七名

都内各地区代表の精鋭44チームが
参集。一人午前中4射午後4射の
8射、選手5名にて計40射で競技。
当チームは日頃の成果が発揮出来
ず、僅差にてトーナメント8チ
ームに参加することが出来なかった。
早期に練習を開始し、来年を期し
度いと思っています。(広瀬 守)

◎バドミントン

五月二十四日・五日三十日・
六月七日

駒沢室内球技場、夢の島総合体育
館

男子の部

一回戦

練馬 ー 不戦勝

二回戦

練馬 46 ー 35 荒川

三回戦

練馬 78 ー 59 渋谷

準決勝

練馬 72 ー 80 文京

女子の部

一回戦

練馬 28 ー 35 葛飾
(今来サキ)

◎クレール射撃競技

昭和六十二年五月二十四日

千葉県成田射撃場

参加 三十八連盟三〇四名

本年度に於ては、前年度以上の、
成績をあげるべく、選手の選考を
前年度、本年度の実射主義を取り
入れ、代表選手の決定を見た訳で

す。トラップに於ては、参加三十
八連盟中第二位の成績となりまし
た、スキートに於ては、今後選手
選考を考える必要が大いにあり、
この部門を充実すれば、今後より
よい成績を出せるものと思ひ、ス
キート部門の、再編成を行きま
たいと思ひます。尚今後共皆様方
の御指導を切にお願い申しあげま
す。(長谷川義夫)

◎剣道競技

昭和六十二年五月三十一日

品川区立総合体育館

参加 五名

午前九時五十分、大会会長 景山
二郎会長の挨拶に始まり、審判長
野正豊検先生の試合上の注意終了
後、ただちに試合開始となり当練
馬区は第一試合場で第二試合目に
調布市と対戦、5対0とストレ
ートにて敗退となりました。

◎サッカー

五月二四、三〇、三二日

駒沢第一、第二球技場

参加 五七名

今年は初戦で足立区と対戦したが
前半に一点とられ苦戦した。しか
しながら、後半に一点とり返して
勢いにのり、PR戦の結果3対0
で勝利した。

次に目黒区と戦ったが、実力では
劣りながらもチームワークがよく
守り、2対1で強敵を倒し準々決
勝へ進出した。

さすがベスト8に残るだけあって
葛飾区も強く、先取点をとられた
が後半にとり返して、緒戦と同様
PR戦に持込んだが、残念ながら
敗退した。

◎卓球

五月三十一日

江戸川区スポーツセンター

参加 男子五十、女子五十チーム

男子は一回戦シード、二回戦3対
1日野市、三回戦2対3大田区に
敗れる。
女子一回戦シード、二回戦1対3
台東区に敗れ男・女共ベスト8に
残れず競技得点をとれませんでした。
来年頑張ります。

◎ライフル射撃競技

五月三十一日(日)

山梨県営八代射撃場

参加 七名(監督二名を含む)

今年度の都民大会には本協会に優
秀選手の入会もあって、今年こそ
優勝と考えており、他よりもその
様に見られておりましたが、かえ
ってそれがわざわざいとなり、二人
の選手がアジア大会に出場と言
事出場出来なくなりました。

◎柔道競技

昭和六十二年五月三十一日

講道館

参加 一二〇名

第40回都民体育大会柔道競技は、
5月31日(日) 講道館大道場にて
行われた。過去、3回制覇したこ
の大会に練馬区は監督 塩沢登
(七段) 大将 上野幸男(三段)
中堅 野田隆文(二段) 先鋒 高
橋徹也(初段)を送り、上位入賞
を期待した。応援団の声援に答え
るべく、4回戦進出(ベスト8)
を果たし、↓惜しくも入賞は逃
がしたが、若者らしいさわやかな
試合ぶりで健闘した。

◎卓球

五月三十一日

江戸川区スポーツセンター

参加 男子五十、女子五十チーム

男子は一回戦シード、二回戦3対
1日野市、三回戦2対3大田区に
敗れる。
女子一回戦シード、二回戦1対3
台東区に敗れ男・女共ベスト8に
残れず競技得点をとれませんでした。
来年頑張ります。

◎柔道競技

昭和六十二年五月三十一日

講道館

参加 一二〇名

第40回都民体育大会柔道競技は、
5月31日(日) 講道館大道場にて
行われた。過去、3回制覇したこ
の大会に練馬区は監督 塩沢登
(七段) 大将 上野幸男(三段)
中堅 野田隆文(二段) 先鋒 高
橋徹也(初段)を送り、上位入賞
を期待した。応援団の声援に答え
るべく、4回戦進出(ベスト8)
を果たし、↓惜しくも入賞は逃
がしたが、若者らしいさわやかな
試合ぶりで健闘した。

練馬区テニス協会

練馬区桜台6-4-14 桜台テニスクラブ内 TEL 993-1829

◎バドミントン

五月二十三・二十四日
駒沢屋内競技場・体育館

参加 役員選手計二十三名

女子チームは、一回戦北区二回戦

昨年ベスト8の自県にも三戦全勝

三回戦国立にも 勝と勝ち進んだ

が、準々決勝の台東に〇―二と残

念ながらベスト8で敗退して終

た。男子チームは選手一人が、

出張先よりの帰りが遅くれ試合開

始の挨拶に間にあわず、不戦負と

云うまことに不名誉な結果に終

て了い、他選手始め関係各位に大

変な御迷惑をおかけした事を深く

御詫び申し上げると共にこの様な

事態を二度と起さない事を誓い、

来年度は、男女共上位入賞を旨と

し、練習にはげむつもりで居りま

す。 芳賀洋子

◎バレーボール

五月三十一日・六月六日

江戸川区スポーツセンター他

参加 二十八人

五月三十一日・六月六日と二日間

にわたって行われたバレーボール

競技において、我が九輪会は初め

て三位に入賞することができまし

た。さすがに代表チームが出てい

るだけあって、初戦からかなりの

苦戦でしたが、攻守ともに調子が

良く勝ち残ることができました。

特にコート決勝ではフルセットの

末、勝つことができたので喜びも

ひとしおでした。準決勝は多少の

緊張があったようでストレートで

敗れてしまい残念でした。

これからはなお一層練習にはげ

み、来年は更に上位をめざしたい

と思います。 江戸藝之

◎テニス競技

五月二十四日・二十五日

有明テニスの森公園庭球場

男子の部(鶴、長谷川、上原、

山村、皆井、中島、占部、池山)

二回戦

練馬 2―1 江戸川

三回戦

練馬 1―2 世田谷

女子の部(塩田、古山、鶴、清

水、米山、渡辺、稲葉、後藤)

一回戦

練馬 2―1 東大和

二回戦

練馬 3―0 秋川

三回戦

練馬 3―0 足立

準々決勝

練馬 1―2 中野

◎空手道競技

五月三十一日

駒沢室内競技場

一回戦

練馬区―多摩市

二回戦

練馬区―調布市

三回戦に進み惜しくも敗れた。

◎アーチェリー競技

五月三十一日

駒沢競技場

・男子 総合十八位

増島 五八二点

金 五五三三

柳 五六五五

女子 総合 四位

神谷 五二九点

石黒 五二六六

稗田 五一八八

本年より女子がオープン参加日頃の

練習の成果で四位入賞はすばら

しい。

◎自転車競技

六月七日

立川競輪場

今年も優勝した。四年連続通算七

回優勝したことになりました。本大

会の視点は二点あると思います。

一点目は「先んずれば人を制す」

という言葉があります。本大会

最初の得点種目千米タイムトライ

アルで練馬区が十三点を獲得した

時、打倒練馬区を目指していた地

区がこの時点で「打倒練馬」を諦

めたようでありました。

二点目は表彰状の文言と同じよう

に「一致協力克く日頃の精華を発

揮」したことがあります。

一位を獲得した北見、西尾、梨木

のベテラン選手に、これに負けじ

と奮闘した。鹿島、田中、中村、

土屋、生形、日井の入賞選手、入

賞を逃したがベストをつくした各

選手の努力の結果が優勝につなが

った。本大会にご支援、ご協力を

いただいた関係者に厚くお礼申し

上げます。(白井 遊)

◎一〇〇米タイムトライアル

一位 北見裕史 一・十二・六五

二位 田神明彦 一・十二・八三

◎ミスマンドアウト

三位 中村 保

◎二〇〇米速度競走

一位 梨木幹郎

◎八〇米速度競走

一位 西尾 優

◎二〇〇米速度競走

一位 西尾 優

総合得点 五八八と二位以下を

大きく引きはなして優勝した。

◎銃剣道

五月三十一日(日)

台東区リバーサイド・スポーツセンタ

参加 一五二名

今年度も強化合宿を数度にわたり

実施し連日激しく厳しい練習をつ

み大会に臨んだが残念ながら予選

リーグ戦で強豪の新宿区に接戦の

末二対一で破れ三連覇の夢は消え

た。今年も予選リーグ戦に強いチ

ームばかりが組合せられ初戦の府

中市チームには二対一で勝ったが

予選リーグ戦は一本勝負のため失

敗は許されず、各選手は慎重の上

にも積極果敢に勝負を挑み敢闘し

たが新宿区に破れたため決勝リ

グ戦に進出できなかった。そのた

め五位―八位をきめる順位決定戦

に回り武蔵村山市と青梅市を次々

と破り今年度は第五位に落着いた。

(村井敏夫)

ピーシー理化工業(株)

長谷川 英 明

練馬区富士見台 3-41-9 ☎ 926-8008

鳥 ぶ じ

豊玉北 5-21 ☎ 994-0203

◎ローラースケート競技
五月二十四日・六月二日
後楽園ローラースケートリンク

・ホッケー競技

一回戦

二回戦

準決勝

三位決定戦

(文京区が優勝)

練馬区 2-7 文京区

練馬区 11-1 杉並区

練馬区 3-2 江東区

練馬区 11-1 杉並区

練馬区 2-7 文京区

練馬区 11-1 杉並区

練馬区 3-2 江東区

練馬区 11-1 杉並区

練馬区 2-7 文京区

練馬区 11-1 杉並区

練馬区 3-2 江東区

練馬区 11-1 杉並区

練馬区 2-7 文京区

真夏を思わせるような太陽が輝く六月七日第40回東京都民体育大会なぎなた競技会が千駄ヶ谷の霞ヶ丘体育館で行われました。今日こそ精いっぱい頑張るぞとの決意と緊張が選手顔にみなぎって居りました。わが練馬チームも果敢なる攻めと機敏なるまもりで必死に奮闘しましたが惜しくも目黒区チームに敗れてしまいました。結局優勝は相手チームの目黒区が勝ち

となりました。しのぎを削った熱戦は終りましたが又来年にむかって心も新たに懸命なる努力と練

昭和六十二年、定期総会

事業計画・予算を承認

野口理事長・副会長に就任



四月二日 午後七時
区役所 会議室

一、開会の挨拶 奥田副会長

一、奥山会長 挨拶後議長となり

議事を進め、昭和六十一年度事業報告、法人化基金の集計と報告

六十二年度予算総額七、四四二、〇〇〇円、事業計画を審議都体協

表彰への推薦、団体ライフル射撃

連盟、個人松井昭武に決定。馬術

連盟の加盟申請について仮加盟と

して承認)について役員改選となり

天野仮議長を選出、会長を奥山

選出し、再び奥山会長より副会長

に奥田真輔、野口露郎を選出承

常任理事、監事も互選し、協議事

項を終了、その他、追加理事の提

出、都民大会への申し込書、都民

大会開閉会式参加者氏名、研修会

参加者氏名等、提出書類の説明し

会を閉じた。午後九時。

▼昭和六十二年度 第二回理事会

五月二十日 午後六時

区役所 会議室

奥田副会長より開会の挨拶後、天

野理事長より、新執行部の紹介、

並びに昭和六十一年度、会計決算

報告決算額九、三一九、三八〇円、

会長会決算報告、法人化基金集計

表報告一七、二九七、四一〇円、

全員一致にて承認される。ついで、

松井副理事長より、都民大会

選抜費、強化費の交付基準につい

て区教委からの内容を説明し、質

疑の後了承され、交付金を吉田会

財団法人 東京都医療保健協会 練馬総合病院

練馬区旭丘2-41-1

☎ 972-1001

計理事より配布された。又、社会体育課より都民大会の参加賞等必要備品の配布、本副理事長より幹部研修会についての説明があり、閉会しつづいて岩波新区長歓迎祝賀会一三〇名の出席を得て盛大に開催、区長より社会体育振興への力強いあいさつをいただいた。

昭和六十二・六十三年度 練馬区体育協会 新役員

会長	奥山 則男	再任
副会長	奥田 真輔	再任
副会長	野口 嘉郎	新任
理事長	天野 文男	新任
副理事長	松井 昭武	再任
常任理事	本間 弘一	新任
常任理事	藤井 和雄	新任
常任理事	吉田 邦治	新任
常任理事	安藤 幹男	再任
常任理事	広瀬 守	新任
常任理事	井口 鏡曹	新任
常任理事	長谷川 義夫	新任
常任理事	富田 秀夫	新任
常任理事	中沢 明	新任
常任理事	森野 符公袴	新任
常任理事	星 安之	新任
常任理事	寺崎 武	再任
常任理事	横山 鉄次	新任
常任理事	榎本 芳弘	新任
常任理事	渡辺 重	再任
常任理事	加藤 守康	新任
常任理事	徳山 靖	再任
常任理事	内山 道子	新任

練馬区体育協会関係者合同新年会

練馬の全スポーツの代表
三十二団体二〇〇名が集う



四月上旬並みのポカポカ陽気の一月二十四日午後六時から豊島園内ポッポにおいて、来賓及び加盟二十七団体、三十一競技の約二百人が参集して盛大に開催された。天野常任理事の司会、野口理事長

が急病のため奥田真輔副会長が代って開会の言葉、奥山則男会長が挨拶「六十三年度四月に法人化達成が体協の悲願です。練馬の社会体育発展のためにも、全団体の総力をあげて頑張りましょう」と大

いにアピールした。

横山守成教育長職務代行、前田正美豊島区体協会理事長の各祝辞、参加三十一団体会長を紹介し、吉田公一卓球連盟会長が代表して挨拶を述べ、榎本松次副会長の威勢のよいおんどで乾杯を行った。

岩波三郎前教育長も駆けつけて「十三年間の体育行政への協力に心から感謝します。中大グラウンド跡地は区民の運動施設として全面解放を約束します」と力説して、出席者全員から拍手を送られる。

続いてカラオケ大会は、富田、森野副常任理事の司会で、パレポール山田左千夫会長チームの合唱からは始まり、バナナの叩き売りまで飛び出し、各団体ともエースを出演させ盛況であった。そして参加者待望のオクシオン大会(出品物は体協関係者寄贈)は本副常任理事、松井副理事長のコミカルな進行で、約百点はまたたく間に売り切れとなった。井口スポーツ少年団本部長の万才三唱、寺崎理事長の閉会の言葉で午後九時三十分熱気のうちに終了した。

▼新年会収支決算
 ・新年会収益 一四五、五〇〇円
 ・オクシオン 一八〇、〇〇〇円
 ・総合計算額 三三五、五〇〇円
 以上の金額は、体協法人化基金に繰入れました。(天野文男)

さくま商事(株)

練馬区北町3-20-6
☎ 931-3201

スワータースポーツ

【春日町店】

春日町5-7-10
☎ 998-4860

【桜台店】

桜台4-30-11
☎ 994-5674

第五回少年少女スポーツフェスティバル

主催 練馬区教育委員会
共催 練馬区体育協会

四月二十九日午前九時から中央
グラウンド跡地において第五回練馬
区少年少女スポーツフェスティバ
ルは約二千人が参加、さわやかな
汗を流した。横山教育長代行・奥

山体育協会会長の挨拶、来賓紹介
があり特にはじめての公式行事出
席の岩波三郎区長は挨拶で「良い
天気のもと一日スポーツで楽しく
過しましょう。体をきたえ立派な
大人となり、親に孝行してあげて
下さい」と激励の言葉を述べた。



鈴木都知事と奥山会長

子供たちは、障害物競走、アメ食
い競走、ミニゲートボール、ホー
ムランコーナー、竹馬コーナー、
ミニサッカー、団体なわとび、リ
レー、など、いろいろな催しに参
加して歓声をあげた。昼休みには
練馬区剣道連盟による野試合や、
馬術連盟による馬術演技、ポニー
の馬車に乗せてもらう等アトラク
ションが披露された。子供達は疲
れたけれど本当に楽しかったと喜
んでいた。

第一回城北五区
バドミントン競技大会

五月三十一日

豊島区立 豊島体育館
主催 城北五区バドミントン協議会
主管 豊島区バドミントン協会

優勝 練馬区チーム
五区最優秀選手

星野義昭(アローズ)
練馬区優秀選手

大平ヒサ(練馬クラブ)
城北五区体育協会連絡協議会が発
足初めての大会で、五区役員が大
会運営について協議し、五区持ち
廻り、総当りリーグ戦とし、立派
な大会が開催された。六十三年度
は板橋区が開催区となる。

城北六人制バレーボール
男・女オープン大会

二月二十二日(日)練馬区立体育
館において女子全試合

二月二十二日(日)滝野川体育館
において男子一、二回戦

三月八日(日)赤塚体育館におい
て男子準々、準決、決勝戦がおこ
なわれた。

◎ 男子の部

優勝 BBS十六 豊島区
二位 谷原クラブ 練馬区
三位 板橋区役所 板橋区
三位 九輪会 練馬区

◎ 女子の部

優勝 全共栄 豊島区
二位 西友 豊島区
三位 翔 豊島区
三位 向が丘OG 豊島区

第九回練馬区バドミントン
オープン選手権大会

三月十五日 一部
三月二十二日 二部
区立総合体育館

▼ 一部

◎ 男子の部

優勝 小林 賢治(春日之)
後藤 勝(部庁)
二位 高須 宏幸(SBC)
内村 実(〃)
三位 有賀 一秀(NTT)
飯塚 正之(郵政)

三位 富路 秀憲(MJBC)
齊藤 浩司(〃)

◎ 女子の部

優勝 合田早余子(エーテル)
春日 純子(春日之)
二位 西野 仁子(練馬ク)
芳賀 洋子(〃)
三位 福島せつ子(ニコーシイ)
佐藤 利子(〃)

<p>森野住建</p> <p>練馬区大泉学園町8-12-4</p> <p>☎ 925-6137</p>	<p>Tea House CHRISTIE</p> <p>紅茶の店・クリスティー</p> <p>渋谷区神宮前1-16-1</p> <p>☎ 401-2866</p>	<p>田中硝子建材(有)</p> <p>北町3-18-9</p> <p>☎ 931-0669</p>
---	--	--

三位 大野真佐枝(テール)
 菊地千佐子(〃)
 ▼二部
 ◎男子の部
 優勝 渡辺 哲義(ニコシイ)
 妹尾 覚(〃) (テイ)
 二位 萱沢 康宏(一般)
 山口 英助(〃)
 三位 熊谷 忠直(一般)
 杉原美喜夫(〃)
 三位 安藤 保彦(久留米)
 田崎 国浩(〃)
 ◎女子の部
 優勝 今川 照子(小金井BC)
 木村笑美子(〃)
 二位 中村 政子(〃)
 本間久美子(〃)
 三位 佐伯浩代(小平あすなろ)
 島田いく子(〃)
 三位 鳥島 良子(〃)
 浅井 慶子(〃)
 第八回練馬区バレーボール選手権大会
 主催 練馬区バレーボール連盟
 共催 練馬区体育協会
 後援 練馬区教育委員会
 二月十五日より三月十日にわたり五日間、一般男子・女子・家庭婦人の部、熱戦が展開された。

二位 春日クラブ
 三位 仲好会
 ◎家庭婦人の部(A)
 優勝 KVC
 二位 NKC
 三位 IVY
 三位 たかまつ
 ◎家庭婦人の部(B)
 優勝 練馬クラブ
 二位 大ニ小
 三位 学園校小
 三位 大北小
 【第十三回練馬区剣道大会】
 五月十七日
 区立総合体育館
 参加選手 一〇〇六名
 役員審判 八〇名
 ◇団体戦
 ◎一般の部
 優勝 練馬剣友会Bチーム
 ◎少年の部
 優勝 さかえ剣道教室
 ◇個人戦
 ◎四段・五段の部
 優勝 長澤 乾夫(石東富士)
 ◎三段以下の部
 優勝 熊倉 寿和(日大芸術)
 ◎家庭婦人の部
 優勝 古川奈々子(ふじ剣道教室)
 ◎高校生の部
 優勝 原 友晶(東松館)
 ◎中学生の部
 優勝 宮尾拓朗(石神井剣真会)
 ◎小学校五、六年生の部
 優勝 坪谷 淳二(東松館)

◎小学校三、四年生の部
 優勝 吉越 寛慶(大四道場)
 【練馬区スキー選手権大会】
 四月十二日(日)
 六日町 ミナミスキー場
 主催 練馬区スキー協会
 共催 練馬区体育協会
 種目 大回転 一本
 ◎男子一部
 優勝 今井 裕康 四七秒七九
 ◎男子二部
 優勝 中沢 恵二 四六秒九六
 ◎男子三部
 優勝 加辺 近司 四八秒六一
 ◎男子四部
 優勝 杉崎寿三男 五二秒二五
 ◎女子一部
 優勝 花房しおり一分二秒二五
 ◎女子二部
 優勝 高見沢尚代一分〇一秒三七
 ◎女子四部
 優勝 森川 璋子一分四秒七二
 第十四回練馬区少女ソフトボール大会(春季大会)
 四月二十六日～五月三日
 関北小・中央グラウンド跡地
 主催 練馬区スポーツ少年団
 主管 練馬区ソフトボール協会
 後援 練馬区教育委員会
 優勝 石神井小ソフトボールクラブ
 準優勝 関北レット
 三位 泉新川ソフトボールクラブ
 三位 ホワイトソックス

第七回練馬区ゲートボール大会
 五月十九、二十一日、二十二日
 中央グラウンド跡地運動場
 主催 練馬区ゲートボール協会
 主管 練馬区ゲートボール大会実行委員会
 参加選手 八六二名
 二日間に予戦を行い熱戦を展開、三十三チームが決勝大会に進み、すばらしい戦績をのこした。
 優勝 東年協タイヤモンドB
 二位 クローバー会クローバー
 三位 田柄ゲートボール同好会A
 第六回スポーツ少年団柔道大会
 二月十一日(水) 建国記念日
 区総合体育館
 ◎一年生の部
 優勝 今井 真吾(鍛守)
 ◎二年生の部
 優勝 松村 泰幸(学園武)
 ◎三年生の部
 優勝 田中 康弘(鍛守)
 ◎四年生の部
 優勝 関口 秀明(練馬警)
 ◎五年生の部
 優勝 新井 和彦(学園武)
 ◎六年生の部
 優勝 落合 青史(練馬警)
 年々出場選手が増加すると同時に、柔道の基本技能を正しく、マナーも大変よくなり、指導者の努力がみられてきた。(吉田邦治)

<p>中外徽章(株)</p> <p>千代田区神田小川町3-2</p> <p>☎ 294-3431~5</p>	<p>(有) 清水ビル</p> <p>練馬区春日町6-1-10 第一清水ビル</p> <p>☎ 999-1519</p>
--	--

奥山則男藍綬褒章受賞祝賀会

東京都議会議員であり我が体育協会会長は永年の地方自治の功績に対し、昭和六十一年十一月、藍綬褒章を拝受、十一月十九日夫妻揃って皇居に参内、長和殿春秋之間にて天皇陛下の御言葉を拝しました。

この栄ある授賞祝賀の会は、二

月二十日東京プリンスホテルにおいて三〇〇人が出席し開催された。奥山会長はこの後は、褒章の記にありまますように更に、公共の福祉に奉仕し、地方自治の振興に全力を尽くし皆様のご厚恩に報ゆる覚悟です」とお礼のごあいさつがありました。



練馬区軟式野球連盟

創立・四十周年記念式典

昭和六十二年二月十一日 豊島区 目白 樟山荘
陸上自衛隊、第一音楽隊三十二名の演奏のもと、芝山露江さんの司会により、式典並びに記念パーティーは盛大に開催された。
奥山会長より「数多くの御来賓、功労者の表彰等が行われた。

第八回練馬区ネットボール選手権大会

一部 新星・光が丘一
二部 強豪・学園 優勝

去る三月一日第八回練馬区ネットボール選手権大会が練馬区立総合体育館にて開催された。

参加二十九校五十九チームを揃め白熱したゲームが展開され、その結果一部は新星、光一ハリケーンAが優勝し、二部は強豪、学園ブラックゴールドジュニアが連続優勝をたした。

小竹小キャプテンの吉本文絵選手の元気一ぱいの選手宣誓のあと来賓の激励、父兄の声援を背に戦いの火蓋が切って降された。

各試合とも、熱のこもった好試合が展開され、日頃の成果を充分に発揮しようと、皆一生懸命に戦った。特に常勝大泉学園小に対し一回戦北町小、二回戦旭ヶ丘小等の火花を散らす大激戦は、手に汗にぎる見物のある試合であった。

そして三回戦で伏兵である開二小に破れるという大波瀾をおこした。その上、本大会の特色でもある、新興チームの台頭いちじるしく、群雄割拠、下剋上の戦国時代そのままの様相であった。

その中で破壊力のある攻撃力で早宮小に苦戦した以外は順調に勝ち進み、光一が優勝をたした。全体的に、レベルの向上の結果、接戦の好カードが多く、時間が大巾に遅れ選手を含め関係者に、大変迷惑をお掛けした事は、将来に一考を要すると感じました。

ともあれ、予戦も含め二日間に渡り、無事故で、本大会を終了した事に対し、大会役員及び各チームの皆さんの協力に対し感謝申し上げます。

(吉沢記)

中 沢 工 務 店

練馬区桜台 4 - 17 - 20

☎ 991 - 3568

万 倉 電 設 (株)

港区三田 4 - 13 - 20

☎ 03 - 453 - 5661

「岩波三郎 新区長 誕生」

体協総力を結集

史上初の選挙戦を展開！！

新しい区政に大きな期待！



岩波三郎 新区長

昨年十二月田畑区長引退の声明の
その日から、この度の激しい選挙
戦が開始された。関係政党・支援
団体の調整、教育長の辞任、後援
団体連合体の発足、事務所の開設
と、一〇〇日余の熱い熱い戦いは
四月二十六日の投票日まで続いた。
練馬区を大きく二つに割っての
選挙戦は全国の注視的、そのな
りゆきは新聞・TVに大きく報道
された。

我々練馬区体育協会は傘下全団体
の総意により「岩波三郎」の支援
を決意し、体協史上初の選挙対策
本部も設置し組織力をフルに回転
之に対応した。

その結果、兎事に大輪の花を咲か
せることに成功した。

我々体協は今日まで行政との協力
のもと、唯ひたすらに「スポーツ
の普及・指導に」「区民の体力づ
くり」に取組んできた。あらたま
って今その要望を示すことよりも
何故に我々があえてこの選挙戦に
足を踏み入れたかき、新区長の心
に止めておいてほしい。

総てを教育長としての長い経験の
中に熟知しておるだけに我々が何
を望み、何を期待しているか充分
に理解しておることを思う。

「練馬に新しい区政を」「区民と
共にある区政を」「体育の場にも反
映していただけるものと信じて止
みません。

心からお祝い申し上げます。

レストラン 彰子

練馬区豊玉北 6-10
TEL 992-5520

高津 彰子

いしかわ歯科医院

練馬区東大泉 7-38-29
TEL 924-6789

石川 明

選挙戦をふりかえって

野口嘉郎



岩波区長と奥山体協会長

選挙と政党とのかわりは不可欠のものである。しかし一般市民の手が届く選挙、即ち市長・区長選となると又違った一面がありこれが大きなウエイトを占めることがある。

私自身三十数年前、群馬県知事選挙で自民党推薦の現職知事を相手にして、党派を越えての県民連

合を組織し中道、革新とも手を握り見事に勝利を獲った経験を持っている。

新興の住宅地として発展し人口今や六十万人の練馬区！

しかし、政治に無関心の人も多い。又対人関係の無い人も多い。そこには人の輪はほとんどない。それだけにスポーツ・文化が必要となる。

練馬区とはそんな所となっている。

さて、年も押し寄せた十二月、保守中道の三党との協議で田畑区長の再出馬はなくなった。そして調整の結果「岩波三郎教育長」の出馬が報道された。

体協は十数年来の關係にある教育委員会のヘッドの出馬には、その対応を考慮せねばと考えた。

特に、田畑区政と体協との連携はよいとは言えなかった。二十三区の中で「補助金ゼロ」の事実がこれを物語っている。

満場一致で「岩波三郎氏を区長候補予定者」として推薦を決定し、総力を挙げて区長選挙戦に取り組みむことを決議した。《二月十八日退院》

体力の回復を図りながら関係方面との調整、体協内部の地面めに努めた。

三月十九日・選挙対策全体会議。この場で練馬区体育協会よりの、「推薦証書」を岩波三郎氏に渡すと共に、全団体の結集を誓いあつた。

三月二十六日 常任理事会
四月二日 体協定期総会
四月三日 選対本部幹部会
四月六日 選対全体会議
四月十三日 事務所開き
四月二十二日 個人演説会
四月二十六日 投票日
四月二十七日 開票日
一午前十一時三十分 当選決定

一年前十一時三十分 当選決定「追い込みに入った最後の十日間は脱落した二団体を除き、三十団体はその組織に対し大電話作戦を展開、朝から深夜まで本當によく頑張ってきた。」

私としては、四月二日の総会で「理事長職」の引退も承認されただけに選挙に全力を注ぐことが出来た。その裏には、十年の理事長職の間に培ったものが結集したとも言えます。

本當に有難う御座いました。

まず野口個人としての思考を確立するため、一月十八日、自宅に岩波教育長を訪問し選挙問題を協議したのがこの始まりでした。

しかし、身体の不調から翌十九日入院、検査の結果手術と決定が下された為、この対策は病院で患察をめぐらした。幸い「体協理事長の勇退」は全団体・役員の内諾をえていただけに、この選挙には一つの区切りの上に立って動くことが出来たと言えます。

病院の小さな個室はある意味では区長選の作戦本部ともなった。まず一月二十四日の体協新年会から始まった。ついで一月二十八日の常任理事会で執行部の決定をとりつけ、臨時総会開催の手順へと持ち込んだ。

《二月四日手術》
翌五日「体協臨時総会」に提案

練馬区体育協会
練馬区谷原一ノ七ノ五
区立総合体育館内
Tel 九九五二二八〇七

発行
代表 奥山 則男
編集 野口 嘉郎
天野 文男
藤井 和雄

印刷 工芸社